

# 施策評価シート(令和3年度実績評価)

## 施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実		施策主管課	秘書政策課		課長名	富澤 秀和			
政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています											
施策No	07	施策名	情報通信環境の充実		関係課名	総務課						
施策の目指す姿	情報通信サービスを快適に利用しています											
現状と課題												
<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の光通信サービス可能世帯の割合は、平成30年度末現在で約96%となっており、一部地域においてサービスが受けられない状況です。</li> <li>国は、平成30年度に今後の光ファイバの整備方針について、山間地等の条件不利地域の光ファイバ整備を進めるため、民間事業者が行う整備について補助対象とし、5Gを見据えた無線の活用を前提に、地域の活性化や課題解決に有効な、効率的かつ効果的な光ファイバ網の構築を推進すること等を示しています。</li> <li>地理的な制約等からテレビ地上波放送を受信できないため、地域住民がテレビ共同受信施設組合を組織し、組合ごとに受信施設を設置して放送を受信しています。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の支援を得て事業者が行う光通信サービスが受けられない地域における光ファイバ整備に対する補助について検討していく必要があります。</li> <li>令和2年からサービスが開始される5Gの高度な無線環境は、産業活性化や地域課題の解決に有効であると期待されており、市においても、その利活用について検討を進める必要があります。</li> <li>テレビ共同受信施設組合が行う共同受信施設の更新等に対する支援など、テレビ難視聴の解消に向けた取組の支援を検討する必要があります。</li> </ul>												
前年度の評価の振り返り												
前年度評価時の今後の方向性												
<ul style="list-style-type: none"> <li>光通信環境整備については、市が費用の一部を負担して行っている事業の進捗をしっかりと確認するとともに、通信事業者が独自に整備する分の事業が確実に実施されるよう要望する。</li> <li>テレビ難視聴地域の解消に向けて、他自治体の取り組み事例や通信事業者等から引き続き情報収集を行う。</li> <li>5G環境を有効に利活用するための情報収集や有効策の検討を進める。</li> </ul>												
反映状況												
<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者が国の補助事業（高度無線環境整備事業）を活用して実施した光ファイバ整備事業に対して、市が整備費の一部を負担した。</li> <li>通信事業者が独自に整備するエリアを含め、市内の既存の電話回線が敷設されている全世帯において光通信サービスの利用が可能となった。</li> <li>テレビ難視聴地域の解消については、通信事業者等との情報交換を行うとともに、他市町村が行う支援の状況などについての情報収集を行った。</li> <li>5GなどICTの利活用するための情報収集や有効策の検討を行った。</li> </ul>												
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組												
(1)情報通信環境の整備促進												
<p>情報通信環境整備に向けた情報の収集と事業者との調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者が国の補助事業（高度無線環境整備事業）を活用して実施した光ファイバ整備事業に対し、市が整備費の一部を負担するとともに事業の進捗管理を行った。</li> <li>テレビ難視聴地域の解消について、通信事業者等との情報交換を行うとともに、他市町村が行う支援の状況などについての情報収集を行った。</li> </ul>												
(2)ICTの利活用												
<p>5GなどICTの利活用に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体DX化を推進する一環として、市民の利便性が向上するよう令和3年度は子育てに関する手続きについて電子申請を可能としたほか、令和7年度を目標とする自治体情報（基幹系）システムの標準化・共通化に向けた検討を行った。</li> <li>市庁舎等の拠点12施設のwi-fi化により、庁内ペーパーレス化を推進し、業務効率化、経費削減に取り組んだ。</li> <li>AI、RPA等ICTの導入による業務効率化、RPAによる庁内各部署における申請入力作業の軽減を進めた。</li> </ul>												
2 成果指標												
成果指標名	成果指標設定の考え方		成果指標の測定方法		単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
光通信エリア普及率	市内で高速光通信が利用できる世帯の状況を示す指標		(光通信利用可能エリア世帯数) ÷ (市内世帯数)		%	目標値	96.90	97.40	100.00	100.00	100.00	100.00
							実績値	95.40	96.70	98.10	100.00	
						目標値						
							実績値					
						目標値						
							実績値					

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>成果指標「光通信エリア普及率」...【達成度a】            民間事業者が国の補助事業（高度無線環境整備事業）を活用して実施する光ファイバ事業に対して、市が整備費の一部を負担して事業を支援することで、光回線未整備地域の解消が図られ、市内の既存の電話回線が敷設されている全ての世帯で光サービスの利用が可能となり、目的が達成された。</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
・なし
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・光通信サービスが市内全域において、利用可能となったことについて、広報はなまきや市ホームページ、区長会での説明等を行い周知を図ったが、全市民に認識されていない可能性がある。</li> <li>・テレビ難視聴地域の解消に向けて、共同受信施設組合の将来負担も念頭に置き、他市町村が行う支援の状況を参考にするなど引き続き情報収集が必要である。</li> <li>・市民の利便性向上や業務効率化に向けてICTを効果的に活用する必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内一部の地域において未整備だった光通信サービスが利用可能となったことについて、市の広報媒体を利用して改めてお知らせする。</li> <li>・テレビ難視聴地域の解消に向けて、ブロードバンドを活用した代替放送など新たに検討をはじめた国の動向に注視し、他市町村の取り組み事例や通信事業者等から情報収集を行うとともに、有効な財源の確保について検討を進める。</li> <li>・国の「自治体DX推進計画」をもとに「住民の利便性の向上」、「業務効率化」を図るためデジタル化を推進する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
	事業内容(活動実績)		直結度		
050	<b>光情報通信環境整備事業費</b>	秘書政策	一致	直結	B
	国庫補助事業を活用して光ファイバ未整備地域の整備を行う民間事業者に対し、整備費用の一部を市が負担した。 (令和2年度から令和3年度への繰越事業)				